

# 視察研修・研修会等報告書

議席番号 ( 15 ) 議員名 ( 中村 久信 )

1 年 月 日 2021年3月30日 (日数 泊 1日)

2 場 所 自宅

3 視察、研修事項 ネット研修：これからの議会改革～議会からの政策サイクルと  
議会成熟度評価

4 講 師 山梨学院大学教授：江藤俊昭氏  
三重県可児市議会議員：川上文浩氏  
日本生産系本部 地方議会改革プロジェクト事務局員

5 視察研修、研修会の成果

○何のための議会成熟度評価か？

① 住民福祉向上のための更なる議会改革

② 評価情報を知ることにより、または自ら評価を行うことにより住民の政治参加を充実させる。

○国政とは異なる地方自治

① 二元代表制で有り、首長との政策競争。従って討議が重要（与野党関係ではない）

② 直接請求ができる住民自治

○住民自治の根幹としての議会

① 議会は地域経営における重要な権限を持つ

② 首長とは異なり多様性の中で討議により合意形成を図ることが重要

③ 執行機関がいなくても議会は成り立つ（勘違いしている議員が多い）

○質問

① 議員の花であるが分断を招く

② 一般質問や会派代表質問を廃止し委員会代表質問の議論

○議会成熟度評価の意義

① 議会改革には完成形はない。成熟度が高まればさらに高次元の目標が生まれる（議会改革の永続性）

② 成熟度評価は日本生産性本部の「経営品質」の発想を活用している。⇒「善き政策」には組織プロセスが重要で有り、価値創造（住民自治の推進）が目的

③ 成熟度評価によって議会が変わり行政が変わり、住民も変わることを目指す。

